

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会

春宅会協議内容 令和6年1月～令和6年9月

- ・令和6年度春日部市在宅療養支援ベッドの運営について
- ・春日部市医療介護連携ガイド【はるパス・思いやりガイド・入退院支援ガイド】について
- ・春日部市医療介護職連携研修・交流会の企画、開催、報告
- ・春宅会運営規程について
- ・令和6年度および令和7年度の研修会日程について
- ・令和5年度埼玉県医師会ACP普及啓発講師人材バンク登録医師及び、令和6年度ACP研修講師について
- ・春こい・らいん2023年度下半期報告
- ・春進センター通信（春しん）について
- ・各団体からの連絡、提案及び活動報告

春しん

【地域ケア会議助言者研修会】開催中！

内容：「地域ケア会議に期待すること
～個別ケースから地域包括ケア構築に向けた地域課題って？～」
話題提供：春日部市地域包括ケアシステム推進センター

令和6年9月18日～於：各地域包括支援センター

ケアマネ&地域ケア会議助言者研修会

「地域ケア会議に期待すること」
～個別ケースから地域包括ケア構築に向けた地域課題って？～

春日部市地域包括ケアシステム推進センター
高木浩之

地域ケア会議の目的

地域の高齢者や介護者が、住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域全体で効果的に包括的な支援を提供するための場

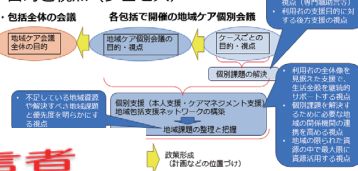
1. 多職種連携による課題解決
 - ・医療、介護、福祉などの専門職が集まり、それぞれの視点から利用者の課題を共有し、適切な対応を提案することにより、課題は課題ごとに対応。
2. 地域資源の有効活用
 - ・地域にある限られた資源（医療機関、福祉サービス、ボランティアなど）を最大限に活用し、利用者にとって最適な支援を提供。
 - ・地域ごとに異なる課題や資源を踏まえて、オーダーメイドの支援プランを作成するのが目的。
3. 住民の自立支援と生活の質向上
 - ・ただ介護を提供するのではなく、利用者が自立した生活を送れるような支援。
 - ・生活の質（QOL）を向上させることが目標。

地域課題ってなに？

- ・地域包括ケアの実現、推進、深化のために・・・
- ・地域の状態像を理解したうえで、解決しなければならぬ「あるべき姿との真のギャップ」（＝地域課題）を抽出し、
- ・阻害している要因を明確にし、解決するために何に取り組みが決められること（＝地域課題）。



地域課題抽出にむけた会議の目的と視点（プロセス）



地域ケア個別会議の助言者として

1. 社会人としての常識（挨拶、服装、時間厳守など）を守る
2. 多くの情報を端的に読み取る能力を養う
3. 自分の専門知識以外の専門知識の習得（運動・口腔・栄養・・・）
4. 誰がいつどこで何をなぜ、どのように（SWI+H）を把握した助言
5. 自立を促す生活課題を把握し、解決する
6. 質問や指摘ではなく助言を促す
7. 謙虚で相手の立場に立った助言を促す
8. 市町村の地域課題を把握する
9. 新しいことを謙虚に説明する
10. 活動から課題を抽出した助言

助言者研修会開催中！
まだまだ参加のお申込み
ができます！

地域ケア会議助言者研修会

地域ケア会議に参加している専門職としてどんな助言が適している？

利用者・ケアマネジャーにとって有効だろうか？・・・助言することで地域課題もみえてくる・・・今回は助言者とケアマネジャーとともに勉強・情報交換しませんか？

※助言者の方は、出来るだけ1回はご参加をお願いします。

内容：「地域ケア会議に期待すること
～個別ケースから地域包括ケア構築に向けた地域課題って？～」
話題提供：春日部市地域包括ケアシステム推進センター

- 第1包括 日時：令和6年9月18日（水）13時30分～15時00分
場所：中央公民館（2階大会議室）
- 第2包括 日時：令和7年1月16日（木）14時00分～15時00分
場所：春日部市第2地域包括支援センター会議室
- 第3包括 日時：令和6年12月25日（水）14時00分～15時00分
場所：Zoom
- 第4包括 日時：令和7年1月9日（木）15時30分～16時30分
場所：春日部映画館（1F）
- 第5包括 日時：令和6年9月20日（金）15時00分～16時00分
場所：ハートニー春日部 研修室1
- 第6包括 日時：令和6年10月21日（月）13時00分～14時00分
場所：武草野地中央集会所
- 第7包括 日時：令和6年11月18日（月）14時00分～15時00分
場所：Zoom
- 第8包括 日時：令和7年2月20日（木）14時00分～15時00分
場所：住和福祉センター2階

申込先：春日部市地域包括ケアシステム推進センター

春日部市医療介護職人材バンク（春バンク）

春バンクとは？
春日部市地域包括ケアシステム推進センター（春バンク）では、春日部市に地域包括支援センター（春バンク）を開設し、地域包括ケア構築に向けた地域課題の解決や、医療・介護・福祉の連携を促進することを目的として、医療・介護・福祉の各職種から人材を募集しています。

地域ケア会議とは？
地域包括支援センターの運営に、自治体の関係機関と連携して開催されるものです。【目的】要支援者や要介護者の個別ケースの課題の解決を目的として、自治体の関係機関と連携して開催されるものです。

募集する専門職種
①医師 ②看護師 ③介護士 ④福祉士 ⑤薬剤師 ⑥理学療法士 ⑦作業療法士 ⑧言語聴覚士 ⑨歯科医師 ⑩歯科衛生士 ⑪臨床検査技師 ⑫臨床検査士 ⑬放射線技師 ⑭放射線科長 ⑮介護職員 ⑯介護福祉士 ⑰介護士 ⑱介護士 ⑲介護士

登録から会議参加までの流れ
1. 地域ケア会議に参加したい職種・職種別に「春バンク」に登録する。 2. 「春バンク」に登録する。 3. 「春バンク」に登録してから、地域包括支援センターで会議に参加する。 4. 地域包括支援センターで会議に参加する。

お問い合わせ先：春日部市地域包括ケアシステム推進センター
TEL: 048-745-8451 FAX: 048-745-8455 Mail: haruhikun@city.saitama.lg.jp
〒274-0043 春日部市春日部 1-11-1（春日部駅前郵便局内）

春進センターのホームページからダウンロードしてお申し込みができます！

春日部市医療介護職人材バンク（春バンク）申込書
春日部市 年 月 日

氏名	性別	年齢	職种	所属	連絡先
〒111-0000	〒111-0000	〒111-0000	〒111-0000	〒111-0000	〒111-0000



地域ケア会議で
分かり合える

2024年(令和6年) 第14号誌
令和6年11月発行

【発行元】
☆春日部市地域包括
ケアシステム推進
センター
(春進センター)

☆春日部市在宅
サービス多職種
連絡協議会
(春宅会)



第22回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

テーマ：【在宅医療における薬剤師の連携】

講師/一般社団法人 春日部市薬剤師会 薬剤師 高橋清哲氏
令和6年2月22日（木）12：00～公開 YouTube配信



第22回春日部市医療介護職連携研修・交流会
～オンライン研修会～

『在宅医療における薬剤師の連携』

講師
春日部市薬剤師会
ウエルシア薬局春日部市立医療センター前店
薬剤師 高橋清哲氏



薬剤師として苦労や失敗例 1

- 遠方の自宅へお届け
- お話しうどうも処方内容が合わない
- 処方間違い
- 薬局へ戻って
- 再度調剤、お届け



薬で医療介護職と患者様を繋ぐ

- 介護職、医療職からも気さくに話せる薬剤師を増やす
- 春コンはとてもいい場所
- これからも薬剤師とご協力
- よろしくをお願いします！



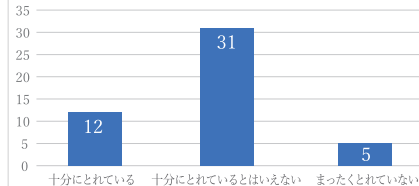
ウエルシア薬局春日部市立医療センター前店
薬剤師 高橋清哲氏

2. 日常の在宅患者（利用者）支援において、薬剤師との連携の状況と具体的なその理由

①【十分にれている】	②【十分にれているとはいえない】	③【まったくれていない】
<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等で密に連携が取れているため（医師/看護師/社会福祉士） ・随時向いたり連絡でやりとり、相談やアドバイスも頂いています。（居宅介護支援事業所/CM） ・その都度の連絡を取り合っているから（施設事業所/看護師） ・行政のため、直接在宅患者の支援は行ってないが、連携の促進を行っています。（行政/薬剤師） ・素早く対応して下さいますので、助かります。安心（訪問事業所/看護師） ・認知症の方の薬について、訪問薬剤の対応を迅速に行っていた。がん末期の患者さまが処方箋を取りに行けなくてどうしたら良いか相談をした際、とても気さくにお話を聞いてくださった。（包括支援センター/CM） ・ケアマネさんが薬局で状況を教えてくれる。（薬局/薬剤師） ・ほとんどの薬局の薬剤師は快く対応してくださる。（訪問事業所/看護師） ・報告書を送ってくれて助かります（居宅介護支援事業所/CM） 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師側からの一方的な処方箋のやり取りが多い（薬局/薬剤師） ・薬剤師はまだまだ敬儀的外的な存在で、利用者様が入院されたのにも知られない事がありました。（薬局/薬剤師） ・訪問医療機関が紙ベースや電話対応のみ等、アナログで連携しにくい場合や、柔軟に対応してくれない医師がいる。（薬局/薬剤師） ・やることと多すぎて、連携とずらい（薬局/薬剤師） ・訪看等からの情報提供を待つだけではなく、薬剤師の方からも積極的に話し合う場を持って欲しいと思います。薬を届けるだけではなく、可能な範囲で残薬・薬手帳を確認していただきたいです。（訪問事業所/看護師） ・薬局から医者に話をしてほしいとか、ケアマネに丸投げもある（居宅介護支援事業所/CM） ・残薬や薬の管理ができないなどがあるが、介護の対応や病院の相談で何とかできないか考えてしまう。薬剤師さんに相談が避けられてしまう（包括支援センター/看護師） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住診患者が少ないため。（歯医診療所/歯科医師） ・現状、関係する職務でないため（行政/薬剤師） ・実施していないため（行政/薬剤師） ・老健職員の為（施設事業所/CM）

連携はできて
いるかな？

3. 日常の在宅患者（利用者）支援において、薬剤師との連携はとれていますか？ n=48



家のプロ
薬剤師がご自宅へお伺いします！

薬剤師は、地域の医療・介護の専門家とチームを組んで在宅医療に取り組んでいます。



春日部市医師会 会長 中村靖史 様



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 会長 竹田 広樹 様



春日部市長 若谷 一弘 様



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 副会長 遠藤 賢 様



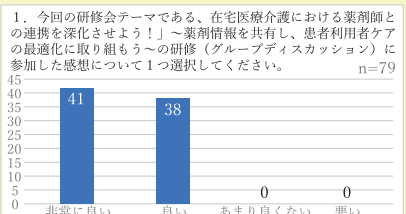
春日部保健所 所長 田中 良明 様

第23回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

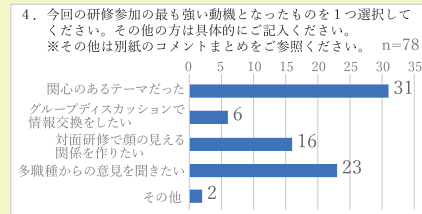
【在宅医療介護における薬剤師との連携を深化させよう！】

～薬剤情報を共有し患者利用者ケアの最適化に取り組もう～

令和6年5月15日（水）19：30～21：00 東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」1階



春日部市地域包括ケアシステム推進センター 副センター長 南本 浩之 様



研修（グループディスカッション）に参加した感想！

- ・薬局の取り組みから客となる高齢者宅への宅配などがあると知り負担が減る仕組みができているのだとわかりました。（介護職/通所事業所）
- ・薬局は本来もっと相談しやすい場所でないといけませんが、まだまだ敷居が高いことを実感しました。私自身は患者さん宅に直接訪問はしていませんが、訪問薬剤師の役割への期待は大きいのではないかなと思いました。（薬剤師/医診療所）
- ・日頃から在宅医療をすすめていく中で課題だなあと感じていたことがまさに今回のテーマとなっていたので、とても有意義なディスカッションができました。短時間のディスカッション内で解決できるようなテーマではもちろんないのですが、他職の方々が感じていること大切なことだと感じています。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤師の職能が十分に活用されておらず、理解も進んでいないことを実感しました。もっと努力が必要だと反省しています。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤師との連携やポリファーマシーについて、情報交換ができて良かったです。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤情報を患者のみにしか渡さない、1枚しか渡さないと、訪看さんなどほかの職種が困るという状況が分かった。名刺も手帳とリンクさせると良い。（薬剤師/薬局）

第24回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

テーマ：「いま知ってほしい地域包括支援センターの取り組み」

～地域ケア会議からはじまる地域づくり～

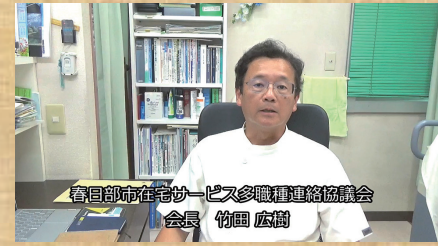
令和6年8月23日（金）12：00～公開YouTube配信



研修に参加した専門職の感想！！

（訪問事業所/看護師）

- ・高齢者が増え在宅の必要性が増すなかで、要となる地域包括支援センターの役割を学ばせていただきました。今住んでいる地域にも目を向け、何か問題を目にした時は情報提供したいと思います。



（居宅介護支援事業所/CM）

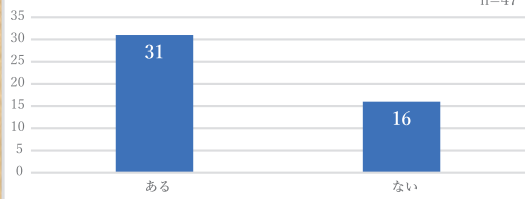
- ・地域ケア会議の意義、包括支援センターの役割がよくわかりました。・地域資源や地域活動についての理解を深める事ができた。
- ・ケアマネとしても社会資源を提案したくても詳しい情報を知りえることができていなかったため、とても勉強になりました。
- ・「生活コーディネーター」が何をやる人なのか知れてよかった。
- ・内容は理解できたが、コーディネーターがアドバイスしてくれることはわかったが、活動によりどのような資源が新規に生まれたかなど時系列で知りたい。又、包括毎の内容ではなく、一冊にまとめてどのような地域で具体的にどのような事ができるかをその都度更新した発信先を作って欲しい。500円で解決や800円で等、具体的にどこまでやってくれるのか等を知りたい。本当にやってもらいたい人は沢山、かなりの数いますし、活動に参加したい際の足の確保方法等も教えて欲しい。限られた人しか活用できない。

（病院/社会福祉士）

- ・介護保険でのサービス以外にも選択肢が考えられることが良く分かった。しかし、実際には本人をどう説得できるのかがまた大きな課題になってくると思う。場合によっては、信頼関係構築出来ている知人に協力依頼も考慮されると思うが、今ケースでは家族ではない関係性のなかでどこまで協力してくれるか等考えてしまう。

4. 各地域包括支援センターが主催する「地域ケア会議」に参加した経験はありますか？

n=47

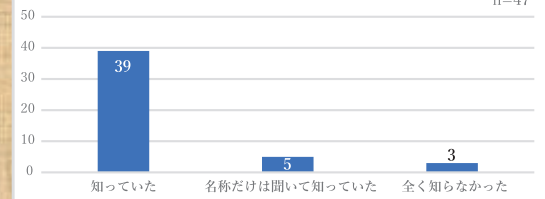


質疑応答



3. 各包括支援センターが主催する「地域ケア会議」が行われていることを知っていましたか？

n=47



「地域ケア会議」参加経験者の、ケア会議の印象や感想

（居宅介護支援事業所/CM）

- ・普段の業務では多職種との関わりも限定的になることが多いのですが「地域ケア会議」では目的に寄り添った意見をいただくことができ勉強になりました。
- ・いろいろな専門職からのアドバイスを聞くことができ、新たな視点で物事を考えることができ、とても良かったです。自分だけでは考えられない提案もできてとてもありがたい。
- ・資料作りから何度も作りなおし、アセスメント力が向上した。大変勉強になった。
- ・時間の設定は大事だが時間に押されて詳細やこれまでの流れを説明できないまま、〇〇の確認などで攻められているような感覚に陥る。有用な意見をいただけることもあるので良いと思う。地域ケア会議の集積された情報や動画でもあった「地域ケア会議から作り上げられた資源」という言葉。どんな話し合いが行われ、どこでどう活用されたのか周知できれば良いと思う。

（包括支援センター/CM）

- ・ケアマネとして参加していた時は比較的元気な人の事例をあげる事に違和感があった。今は意味がわかったので地域のケアマネにも伝えていこうと工夫している。

（薬局/薬剤師）

- ・個別の事業所だけだとなかなか良い案が出ないケースがある。総合的に患者様の生活が向上する様に案を出し合い検討することが出来るのが良いと思います。
- ・型にはまった代わり映えしない感じはします。教科書通りのやりとりよりもう少し掘り下げたところの話し合いを期待したいです。

「地域ケア会議」参加未経験の理由は？参加希望はある？

（歯科診療所/歯科医師）

- ・機会があれば参加したいです。
- （薬局/薬剤師）
- ・機会がなかった。トップが参加していて敷居が高いというイメージ。機会があれば参加したいと思う。
- （病院/社会福祉士）

- ・参加を促されたことがない。・存在を知らなかった。



第24回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

≪「地域包括支援センター」について知りたい事・連携について聞きたい事など≫

令和6年8月23日 YouTube公開

<質問>

◎困っている人はたくさんいる。しかしサポートする人は極めて少ない。もちろん何もしないより良いことはわかっているが、それでも困難が多い。今後は自治会の役割が重要になってくるのではないかと感じた。それもお年寄りをお年寄りが支える環境整備が医療環境よりも優先されるべきだと思います。「おせっかい」がたくさんいる春日部が、明るい老後につながり、必要だと思います。その取り組みについて教えてください。

（薬局／薬剤師）

<地域包括支援センターより回答>

市内でもいろいろな「支え合い」の取り組みが始まっています。

- ① 軽度の認知症の方を地域住民同士で支える「チームオレンジ」
- ② ちょっとした困りごとを地域住民同士で解決する「おたすけ隊・力になり隊」
- ③ 男性の生きがい・役割・地域貢献について話し合う「男のセカンドライフ大学校」
- ④ フレイル予防のためのボランティアを養成し、啓発や、測定会も開催する「フレイルサポーター」
- ⑤ 自治会長・民生委員・住民で地域課題について話し合う「しゃべる場」「ささえあいミーティング」
- ⑥ 地域のイベント・通いの場などの情報を発信する「地域広報誌作成」
- ⑦ 畑仕事を通じて多世代交流を行う「ベジタ一ず若葉っちゃん」
- ⑧ 同じ悩み（介護・病気・認知症）を持つ仲間が話し合う場「家族会麦わらぼうし」「パーキンソン病患者家族会」「介護者サロン福」「ハルカフェ」「灯の会」

などが立ち上がり、活動を続けています。

地域ケア会議などで抽出された「地域課題」をもとに、「生活支援体制整備事業連絡会議」や「かすかべ支え合い会議」で話し合い、地域で必要とされる「支え合い活動」を考え、実現に向けて動いている状況です。

最近では住民同士だけでなく、一般企業や、医療・介護専門職と連携し、地域活動を作り上げている事例もありますので、詳しくは地域包括支援センターにお問い合わせください。

<質問>

◎管理栄養士の介入が必要なケースの場合、実際に介入に至っていますでしょうか？その必要性について教えてください。

（病院／管理栄養士）

<地域包括支援センターより回答>

介護保険においては、通所・入所施設には管理栄養士が常駐し「栄養加算」を算定していることが多く、栄養改善のためのアプローチができています。

また、事業対象者、要支援1・2の方に対しては、人材バンクに登録された理学療法士や作業療法士、管理栄養士など保健・医療の専門職が自宅へ短期間訪問する「訪問型サービスC」があります。

しかし、自宅に管理栄養士が訪問するサービスについては、訪問型サービスCの他には、ほとんど整備されていない状況であり、栄養リスクを抱える利用者・患者様について、通所・入所していない利用者・患者様においては、管理栄養士以外の職種（ケアマネジャー・看護師等）が介入しているケースも多くあります。

介護予防・フレイル予防の観点から、介護保険につながる前に「栄養改善の啓発が必要」と叫ばれています。

地域の管理栄養士（薬局・認定こども園）へ個別に依頼し、「オレンジカフェ」や「春フレカフェ（フレイルチェック事業）」で、フレイル予防講話など協力してもらう事はありますが、まだ件数が少なくその他の管理栄養士の協力が難しい状況です。

（病院・施設などでは所属先の業務が忙しく、外出ができないようです。）

現在は「食生活改善推進員」や「保健センター」「地域包括支援センター」が啓発する事が多くなっています。

【健康フェア2024】

今年もやります！

知ろう！自分のところとからだ～未来につながる健康ライフ～

日時：令和6年12月7日（土）8日（日） 場所：春日部市保健センター「ふれあいキューブ」

【自宅でいきいきと暮らす講座】

講師：春日部市医師会 武里外科脳神経外科
院長 遠藤 賢先生

【身体計測・インボディー】

今年も計測してみましよう！！

